少子高齢化・観光・アメニティ・公共交通

栄本町地区

（大阪府　池田市）

- 計　画　期　間　H17 年～21 年
- 面　　積　149.0ha
- 交付対象事業費　3,175 百万円
- 市人口　103,845 人（地区内人口　14,258 人）

ポイント　歩いて歴史と文化を感じるまちづくり

地区概要　歴史・文化を感じながら、歩行者が楽しく散策できる環境づくりをし、賑わいと安心・安全なまちづくりをする。

目　　標　地域の魅力を形成する大きな要素である自然と歴史・伝統的な資源にふれあうまちづくりを目指し、人々が交流し、安全・快適に歩ける賑わいに満ちたまちづくりを推進する。

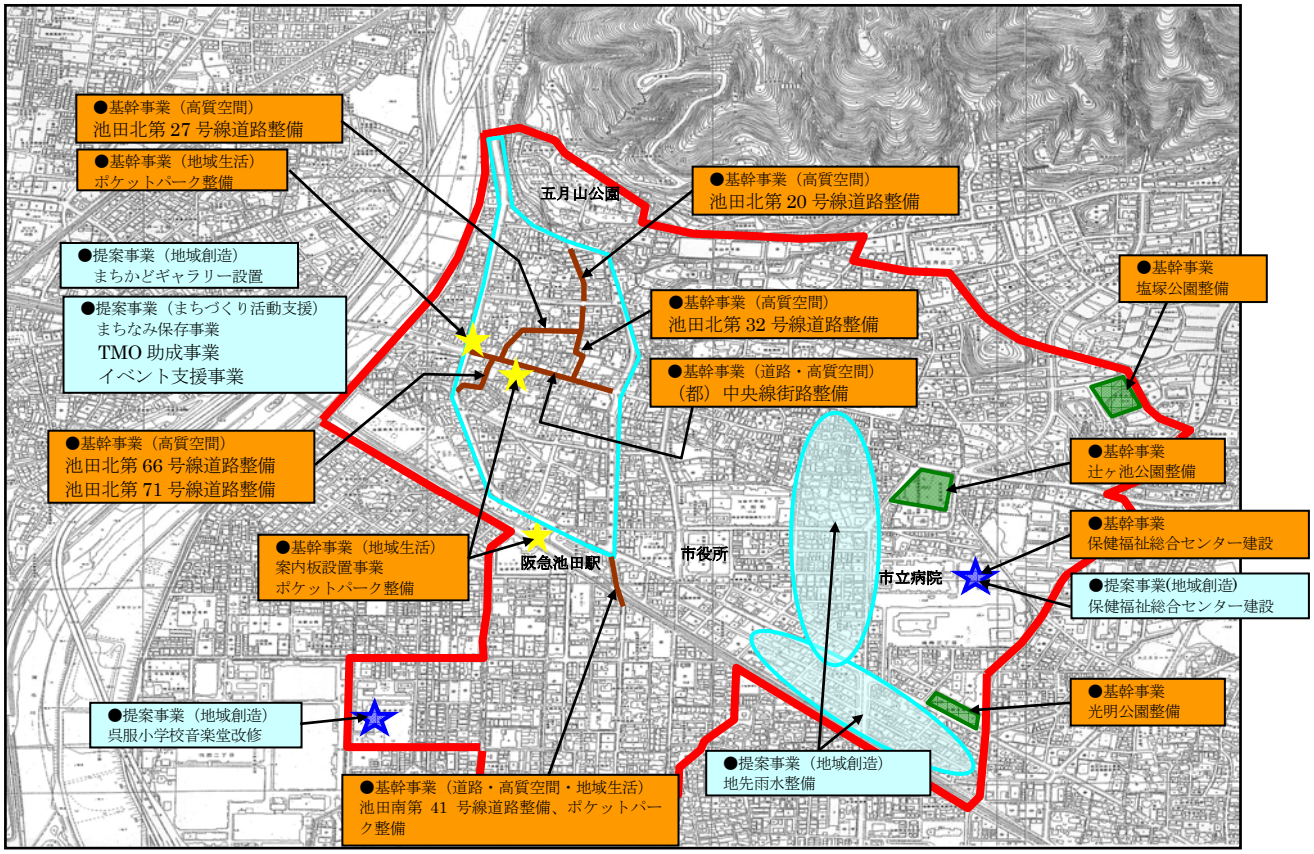
指　　標　池田駅周辺の街の賑わいの再生、歴史的・文化的資産の活用した街の魅力の向上、地域交流の場の提供による利用増進、浸水対策による治水安全度の向上を目標とした。

項目	現況値	（年）	→	見込み値	（年）
通りの通行者数	4,630 人/日	H15	→	5,310 人/日	H20
まちの満足度	14.0%	H10	→	30.0%	H20
福祉施設の利用者数	37,000 人	H16	→	50,000 人	H20
雨水排水能力	1.2m3/sec	H18	→	3.7m3/sec	H21

事業内容

基幹事業（2,379 百万円）→　道路（幅員 12m，延長 270m）、地方道（幅員 15m、延長 110m）、地域生活基盤施設、〔公園（3 ヵ所、1.7ha）ポケットパーク（3 ヵ所、510.7 ㎡）掲示板・案内板（2 ヵ所）高質空間形成施設〔市道（幅員 4.0～12.0m、延長 1,003m、）〕高次都市施設〔保健福祉総合センター（床面積 6,141 ㎡）〕

提案事業（796 百万円）　→　まちづくり活動推進事業〔まちなみ保存事業（5.3ha）、ＴＭＯ助成事業（14ha）、イベント支援事業〕地域創造支援事業〔保健福祉総合センター（床面積 1,342 ㎡）、まちかどギャラリーパネル設置事業（10 基）、地先雨水整備事業（5.2ha）、呉服小学校音楽堂改修事業（床面積 8,169 ㎡）、事業活用調査〕



地区の現況と課題

本地区は、阪急宝塚線池田駅を中心に、旧能勢街道の要路として歴史的、経済的、文化的に発展してきました。しかし、近年の周辺都市の再開発・大規模店舗の進出などの影響により、商業機能の衰退が著しく、阪神淡路大震災の被害により、更に商業機能衰退に追い討ちを受けました。一方では、上方落語に語られるほど、物資交流で栄えた街でもあり、社寺や商家等歴史的な町並みを残しています。そこで、歴史的・文化的資産を生かしながら、商業の活性化が必要となっています。

提案事業の特徴

まちなみ保存事業　通りに面した部分で概ね 50 年を経過した建物の改修、昭和 25 年以前の風情を醸し出す特別な配慮がなされる建物の改修対し補助をし、昔の町並みを再現しています。

ＴＭＯ助成事業　空き店舗の活用を目的とした仲介事業、チャレンジショップ、ガイドブックの発行や落語にちなんだ池田ブランドの商品開発事業で商店街を盛り上げています。

まちかどギャラリー設置事業　中央線街路整備にあわせ、沿道にギャラリーパネルを設置し、文化・芸術性のあるまちなみを創出し、歩きながら文化の香りを感じるまちにしました。

地先雨水整備事業　生活道路において雨水排水管を整備し、洪水等からの浸水を防ぎ、安心して暮らせるまちをつくります。

計画策定プロセス

提案事業における位置付けについては、落語を通じて池田流に味付けをして、おもてなし、商品開発、景観形成・イベントを４つの柱に市民や近隣の皆様に楽しんでいただく取組みを行っています。そこで、毎月 2 回の会合（池田ブランド塾）を開催し、商売人さん、一般の方、まちづくり会社と行政などが頭をひねって商品開発が始まったことや、商店街や歴史的施設などを散策気分で歩いてまわれるルート設定を行う事によって、来訪者にＰＲすることの構想から位置付けたものです。

倉田薫　池田市長のコメント

池田市では、本年「福」をキーワードとして市制施行７０周年を迎えました。この記念すべき年にアイデア賞を受賞した事は、まさに「福」がやって来たと言えます。この「栄本町地区」は歴史・文化そして商業・福祉交じり合った地区であります。このような中、都市計画道路中央線の街路整備を行い、「落語ミュージアム」のオープンをきっかけに、商店街のお店（おたな）が落語のネタをひねった商品開発、おもてなしをする「池田風落語一店一席おたなKAIWAI」の取組みなどを行い、街が活性化する要因となりました。

また、健康増進や保健、福祉サービス、子育て支援や地域福祉を推進する交流の拠点とした「保健福祉総合センター」も開設いたしました。こういった取組みなどを幅広く発信できることは、さまざまな方が池田市に足を運んでいただける事につながり、池田市の街の活性化につながると確信しております。

↑街路整備した沿道のにある、昔の町並みを再現した建築物
（まちなみ保存事業）

↑商店街での池田タウンインフォメーション開設の模様
（まちづくり活動支援事業）

↑池田駅前で落語にちなんだ逸品を扱っているお店を紹介する案内板
（おたなＫＡＩＷＡＩ）

↑まちなみ保存と併せて設置したまちかどギャラリー（絵画や写真などを掲示します）
（地域創造支援事業）

═══ *池田ブランド塾　山脇塾長のコメント* ═══

「落語みゅうじあむ」の開館を機に１店が１品の落語の演目にちなんだ商品を開発し、池田風落語１点１席事業の「おたなＫＡＩＷＡＩ」を展開しました。月に１回「おたなの日」を設け、落語家さんを交えての各店の商品紹介や落語会などを行っています。今では、各店ごとに工夫をこらした催しを開始し、多くのお客様によろこんで頂ける様になりました。「おたなＫＡＩＷＡＩ」は当初２２店舗でスタートしましたが、今では４４店舗と倍増し、今後も参加希望店が増えるのが楽しみです。観光で池田に来られたお客様に落語の面白さを通して、食事や買い物で楽しい一日を過ごして貰えるよう「心からおもてなし」を心がけたく思います。